

直己・慶應義塾大学教授、当研究所の編集委員・研究会所外委員の平岡公一・お茶の水女子大学教授もそれぞれ "Impact of Introducing MDS to Japanese LTC Facilities" と "Long-term Care Needs of Elderly Japanese and Policy Implications" と題された報告をされた。なお、4年後の第7回会議は再び日本で開催される旨が折茂会長によって閉会シンポジウムで報告された。(小島 宏記)

1999年地球環境変動に関する人間社会的側面研究の公開会合

1999年6月24～26日に神奈川県葉山町の湘南国際村で1999年地球環境変動に関する人間社会的側面研究の公開会合(1999 Open Meeting of the Human Dimensions of Global Environmental Change Research Community)が開催された。この公開会合は1995年の米国のデューク大学、1997年のオーストリアの国際応用システム分析研究所(IIASA)における公開会合に続く第3回目のもので、財団法人地球環境戦略研究機関(IGES、所長：森嶋昭夫・上智大学教授)が環境庁およびアジア太平洋地球環境変動研究ネットワーク(APN)と共催し、1999年公開会合の国際科学企画委員会(委員長：Jill JAGER・IHDPコンサルタント、西岡秀三・慶應義塾大学教授)が組織したものであった。

初日午前にはJAGER博士、森嶋教授、環境庁地球環境部の浜中部長の挨拶からなる開会式に続き、学術報告が開始された。2日目の午後を除き、午前と午後の初めに人間社会的側面研究各分野にわたる5つの基調報告がなされたが、その一環としてIIASAのWolfgang LUTZ博士が「人口変動と環境」と題された報告を初日の午後に行ったが、その際には国際科学企画委員会委員でもあるRonald R. RINDFUSS米国ノースカロライナ大学教授が座長を務め、日本大学人口研究所の小川直宏教授が討論者を務めた。なお、2日目の午後の初めにはポスターセッションとデモンストレーションが行われ、合計13のグループないし個人の参加があった。2日目夕刻にはプログラム・ネットワーク会合の時間が設けられたため、国際社会学会(ISA)の人口研究委員会(RC41)と環境研究委員会(RC24)の合同会合が両委員会の前会長(Dudley L. POSTON, Riley E. DUNLAP)の支援の下で青柳みどり博士(国立環境研究所)と筆者により組織された。

しかし、中心部分は3日間とも午前と午後に毎回ほぼ8つずつが同時開催された合計47の一般セッションであり、その他のセッションの報告も合わせると200に迫る件数の報告があり、300人以上の参加者が名を連ねていた。また、主催者側が途上国・旧社会主義国の若手研究者に旅費を支給したこともあり、アジアからの参加者が多いとは言え、全世界の各地域からの参加者があった。会合の性格上、人口関連の名称をもつセッションは「2.5 土地利用と土地被膜の変動：急速な都市化」、「2.8 人口過程と環境」、「3.8 東アジア・東南アジアにおける持続可能な都市化」、「4.4 都市化」、「5.5 健康」、「6.4 中国、インド、米国における人口と土地利用」と比較的多かったが、人口研究者が参加しないものや部分的に参加したものが含まれていた(例えば、Daniel J. HOGAN, Elena TIURIUKANOVA)一方で、これら以外のセッションでも人口研究者が参加していたものもあった(例えば、Maurice D. VAN ARSDOL, Jr., Richard C. ROCKWELL)。セッション3.8は国際社会学会の人口研究委員会が組織したものであったし、平成10年度に当研究所が実施した地球環境総合研究推進費プロジェクト「東南アジア諸国の持続可能な都市形成における人口等の諸要因の相互影響に関する研究」の成果報告も行ったので、プログラムの内容を以下に示す。なお、筆者は大塚柳太郎・東京大学教授を中心とする研究グループの成果が報告された「6.7 アジアにおける地域的環境リスクとリスク認知」の座長も務めた。

3.8 Sustainable Urbanization in East and Southeast Asia

Chair: Yasuko HAYASE

Rulong HUANG

"The floating population in Megacity, China - Facts and Problems"

Hiroshi KOJIMA, Yasuko HAYASE, Satoshi NAKAGAWA, Haruo SAGAZA, Masato SHIMIZU, Shinichi TAKAHASHI, Nimfa OGENA and Bhassorn LIMANONDA

"Sustainable urbanization and religion in Southeast Asia"

Dudley L. POSTON and Marcella E. MUSGRAVE

"The effect of climate on internal migration in China and the United States"

(小島 宏記)